

平成 27 年度 着 工
令和 2 年度 計 画 変 更

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

中山間地域総合整備事業 (暗渠排水)

県 名 岐 阜 県
地 区 名 え な 南 部
事 業 主 体 岐 阜 県

目 次

第1章	目 的	1	第3節	用水計画	26
第2章	地域及び地積	1		1. 計画基準年	26
第1節	地 域	1		2. 計画かんがい方式	26
第2節	地 積	1		3. 計画用水系統	26
第3章	現 況	2		4. 計画用水量	27
第1節	気象及び海象	2	第4節	5. 水源計画	28
	1. 一般気象	2		排水計画	30
	2. 特殊気象	2		1. 計画基準雨量	30
	3. 海 象	3		2. 計画排水方式	30
第2節	土地状況	3		3. 計画排水系統	30
	1. 土地、土壌及び浸食の程度	3		4. 排水量	31
	2. 土地分類	5	第5節	5. 排水対策	31
	3. 土地利用の状況	6		6. たんすい検討	32
	4. 土地所有の状況	7	第6節	道路計画	33
第3節	水利状況	8		1. 道路及び索道	33
	1. 用水状況	8		2. 路線配置図	34
	2. 排水状況	11	第7節	農用地造成計画	34
	3. 河川状況	14		1. 農用地造成計画	34
第4節	道路現況	15		2. 土壌改良	35
	1. 道路概況	15		3. 貯水池	35
	2. 主要道路一覧表	15		4. 洪水調節検討	36
第5節	地域農業の概況	16		5. 管理計画	36
	1. 産業別就業人口	16	第8節	干拓計画	36
	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	17	第9節	農用地整備計画	37
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	17		1. 区画整理	37
	4. 主要作物作付状況	18		2. 暗渠排水	37
	5. 農業の動向	19		3. 客 土	38
第6節	地域環境の概況	19		4. 農地保全	38
第4章	一般計画	20	第10節	老朽ため池改修計画	39
第1節	事業計画の要旨	20		1. 洪水吐改修計画	39
	1. 要 旨	20		2. 堤体補強計画	39
	2. 事業別面積	20		3. 取水施設改修計画	39
第2節	営農計画及び土地利用計画	21	第5章	主要工事計画	39
	1. 営農計画の概要	21	第1節	用水施設	39
	2. 土地利用区分	21		1. 頭首工	39
	3. 作付方式	22		2. 貯水池	40
	4. 生産計画	23		3. 揚水機	40
	5. 労働改善計画	24		4. 用水路	41
	6. 級地別土地利用区分	25		5. その他かんがい施設	41
	7. 土地配分計画	25			

目 次

第2節	排水施設	41
	1. 排水水門	41
	2. 排水機	42
	3. 排水路	42
	4. その他排水施設	42
第3節	道路及び索道	43
	1. 道路	43
	2. 索道	44
第4節	農用地造成	44
	1. 農用地造成	44
	2. 土壌改良	45
第5節	洪水調節施設	45
	1. 貯水池	45
第6節	干拓施設	46
	1. 堤防	46
	2. 潮止め	46
	3. 付属施設	46
	4. 埋立	47
第7節	農用地整備施設	47
	1. 区画整理	47
	2. 暗渠排水	47
	3. 客土	48
	4. 農地保全	48
第8節	老朽ため池改修施設	49
	1. 貯水池	49
	2. 堤体補強施設	49
第6章	付帯工事計画	49
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	50
第8章	環境との調和への配慮	50

第9章	換地計画の概要	50
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	50
第2節	換地区の設定	50
	1. 換地区の名称、所在、面積	50
	2. 換地区を設定する理由	50
第3節	換地計画樹立の基本方針	50
	1. 従前の土地の地積の基準	50
	2. 用途別予定地積	51
	3. 農用地集団化の方針	52
	4. 非農用地の換地方法	52
第4節	土地の評価法及び精算の方法	52
	1. 評価の方法	52
	2. 精算の方法	52
第5節	換地計画樹立の年度計画	52
第6節	換地処分 of 時期に関する特則	52
第10章	事業費の総額及び内訳	53
第11章	効用	54
第12章	関連する事業	54
第13章	現況・計画図面	54

第1章 目 的

本地区の一部ほ場は、排水不良により農地が湿潤状態となっており、排水処理のための維持管理作業に苦慮している。

よって、暗渠排水を整備し、排水処理に関する維持管理の低減を図り、農産物の生産性の向上、農業経営の安定を目指す。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地 域	備 考
暗渠整備 中山間地域総合整備事業	岐阜県 恵那市 明智町 野志、杉平、馬木、高波、下田良子 串原 松林、松本	

第2節 地積

(H 27 年 1 月現在)

R 2 年 6 月現在 (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	小計	山林	原野	池沼	道水路敷	非農用地	計	備 考
	市町村名	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
暗渠排水	恵 那 市	(4.9) 4.3		(4.9) 4.3						(4.9) 4.3	
	計	(4.9) 4.3		(4.9) 4.3						(4.9) 4.3	
合 計											
	計	(4.9) 4.3		(4.9) 4.3						(4.9) 4.3	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む)。なお、換地計画を伴う事業は実測(図上)。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入。

2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)。

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	恵那		灌漑期間			非灌漑期間			計又は平均			備考		
観測期間	S56年～H22年		5月～10月			11月～4月								
平均気温			20.5℃			5.4℃			13.0℃			参照：気象庁HP		
降水量	平均			1,219.0mm			549.1mm			1,768.1mm			参照：気象庁HP	
	基準年			mm			mm			mm				
降水日数	平均			74日			56日			130日			参照：気象庁HP	
	基準年			日			日			日				
根雪期間			月 日～ 月 日 (日間)											
無霜期間			月 日～ 月 日 (日間)											
最多風向			西南西			最大風速 (m/s)						発生時期 発生年月日		

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考	
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率		
恵那																	
観測期間	S53年～H25年																
最大日雨量	(mm)	207	S58.9.28	1/33	195	H1.9.3	1/23	193	S51.5.25	1/22	269	H11.9.15	1/15	240	H10.7.28	1/14	参照：気象庁HP
最大時間雨量	(mm)	77	H17.8.5		75	S63.6.27		61	S63.9.25		53	H22.8.6		51	H1.9.20		参照：気象庁HP
最大4時間雨量	(mm)																
最大連続雨量	(mm)																
最大連続旱天日数	(日)																

3. 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間	年～年								
実測値									

注) 「海象」は海に排水する計画の場合。

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他							受益地標高		備考	
		1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高 (m)		最低 (m)
		以下	～ 1/100	～ 1/20	～ 1/11.5	～ 以上				8°～10°	10°～15°	8°～10°						
暗渠排水	面積 (ha)			(0.9)	(2.7)	(1.3)	(4.9)											
	比率 (%)			0.2	2.7	1.4	4.3											
	面積 (ha)			(18)	(55)	(27)	(100)											
	比率 (%)			5	63	32	100											
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)			(0.9)	(2.7)	(1.3)	(4.9)											
	比率 (%)			0.2	2.7	1.4	4.3											

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°～15°の場合8°～10°、10°～15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°～15°。

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)				備 考			
	土 壤 断 面				土 性	泥炭層 黒泥層 グライ層	堆積様式	母材	事 業 名							
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物					表 土	下 層 土		暗渠 排水				合計
									一 層	二 層	三 層					
多々良統	灰 黄褐	表層多 腐植層	無	無 糸根富	CL	LiC	SC	無	残積	非固結 水成岩	(1.8) 1.8			(1.8) 1.8	G61	
諸橋統	灰 灰褐	表層 腐植層	60cm 以下	膜,糸根 有 無	CL	LiC	-	無	水積	非固結 水成岩	(0.6) 0.6			(0.6) 0.6	G60	
北多久統	灰褐 灰	表層多 腐植層	無	無 糸根富	CL	LiC	HC	無	残積	非固結 水成岩	(0.7) 0.7			(0.7) 0.7	I80	
国領統	灰	表層多 腐植層	30cm 以内	無 糸根富	CL	CL	-	無	水積	非固結 水成岩	(0.3) 0.3			(0.3) 0.3	J90	
芝井統	黄褐 灰	表層多 腐植層	60cm 以下	無 点有	CL	L	Cos	作土直下 グライ層	水積	非固結 水成岩	(0.6) -			(0.6) -	D34	
千年統	黄 灰	表層 腐植層	無	膜含 糸根有	CL	SL	SCL	30~60cm以下 グライ層	水積	非固結 水成岩	(0.3) 0.2			(0.3) 0.2	E42	
安来統	灰	表層多 腐植層	無	無 糸根有	SCL	SL	SL	無	水積	非固結 水成岩	(0.6) 0.7			(0.6) 0.7	G62	
計											(4.9) 4.3			(4.9) 4.3		

注) 「土壤統(区)名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壤区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壤統。

該 当 な し

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 侵 食 の 程 度		備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm 未満	3mm~ 5mm	5mm 以上	中程度のもの	大なるもの	
農地保全	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考
	1 級 地 (ha)	2 級 地				3 級 地			4 級 地				
		※ (ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※ (ha)	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
計													

該当なし

(第4表-2-2)

級位別 市町村名	干 拓					備 考
	1 級 地 (ha)	2 級 地 (ha)	3 級 地 (ha)	4 級 地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地								山 林	
		水 田		普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	茶園 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)
		1毛作田 (ha)	2毛作田 以上 (ha)								
暗渠排水	恵那市	(4.9) 4.3									
合 計		(4.9) 4.3									

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

(H 27年 1月現在)
R 2年 6月現在(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	牧草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
暗渠排水						
合 計					(4.9) 4.3	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別		個人有		計	備考
	区分					
暗渠排水	面積 (ha)	(4.9) 4.3			(4.9) 4.3	
	関係戸数 (戸)	(39) 34			(39) 34	
	筆数 (筆)					
	権利関係					
	備考 (受益者数)	(39) 34			(39) 34	
	面積 (ha)					
	関係戸数 (戸)					
	筆数 (筆)					
	権利関係					
	備考 (受益者数)					
合計	面積 (ha)	(4.9) 4.3			(4.9) 4.3	
	関係戸数 (戸)	(39) 34			(39) 34	
	筆数 (筆)					
	権利関係					
	備考 (受益者数)	(39) 34			(39) 34	

注) 「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況

1. 用水状況 該当なし

(1) 用水系統

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表 該当なし

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣 行 水 利 権		延取水量	備 考
		500ha以上		500ha~100ha		100ha未満		(箇所)	(ha)	(箇所)	(m ³ /s)	(箇所)	(m ³ /s)	(m ³ /s)	
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)								
	井 堰														
	自然取水口														
	貯水池														
	揚水機														
	その他														
	計														
	井 堰														
	自然取水口														
	貯水池														
	揚水機														
	その他														
	計														
合 計															

注) 「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の () 書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。

(イ) 改修を要する施設一覧表 該当なし

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
	井 堰							
	自然取水口							
	貯水池							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	井 堰							
	自然取水口							
	貯水池							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合 計								

注) 「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。用水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 (t)	平均 維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期 最大不足水量		かんがい期 総不足水量				
				平均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			
	計									
	計									
	合計									

注) 団体営事業の場合の「不足水量」欄は基準年。「平均減産量」、「平均維持管理費」欄は記入の要なし。

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (°C)		水質 (pH)等	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

注) 水温、水質の不良等に基づく被害がある場合。

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						人命 (人)	備考	
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計			
	合計												

注) 土砂崩壊は「土砂崩壊の場合の想定被害状況」。

2. 排水状況

該当なし

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 該当なし

(第5表-4)

事業名	施設名	排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
		500ha以上		500ha~100ha		100ha未満						
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)			
	自然	排水路										
		水門										
	機械	排水路										
		水門・排水機										
	計											
	自然	排水路										
		水門										
	機械	排水路										
		水門・排水機										
	計											
合計												

(イ) 改修要する施設の一覧表 該 当 な し

(第5表-5)

事業名	項目 施設名	箇所数 (箇所)	構造	規模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
	自然	排水路					
		水門					
	機械	排水路					
		水門・排水機					
	計						
	自然	排水路					
		水門					
	機械	排水路					
		水門・排水機					
	計						
合 計							

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況						平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考	
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田 (ha)		畑 (ha)		その他 (ha)					
									乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
計			平均															
			基準年															

3. 河川状況

(1) 河川の現況 該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	安全洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

該当なし

注) 地区内及び地区外ともBは全幅 () は有効幅員 (0.1 m単位)。

2. 主要道路一覧表 該当なし

(第6表)

NO.	路線名	管理 区分別	延長 (km)	幅員 (m)		構造	改修の 要否	備考
				全幅	有効			

注) 1. 農道整備、農用地造成、干拓及び区画整備の場合 (主要構造物の表も同じ)。
 2. 「管理区分別」欄は、国道、県道、市町村道、農道の区分別。延長は地区内のみの延長。

第5節 地域農業の概況

(H 26年 12月現在)
R 2年 6月現在 (第7表-1)

1. 産業別就業人口

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	情報 通信業 (人)	運輸業 郵便業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	教育・ 学習 支援業 (人)	医療・ 福祉 (人)	公務 (人)	その他 (人)
恵那市	(26,528) 25,767	(1,349) 1,349	(86) 86	(-) -	(30) 30	(1,845) 1,845	(7,233) 7,233	(100) 100	(161) 161	(1,022) 1,022	(3,578) 3,578	(408) 408	(1,159) 1,159	(2,781) 2,781	(813) 813	(5,963) 5,202
計	(26,528) 25,767	(1,349) 1,349	(86) 86	(-) -	(30) 30	(1,845) 1,845	(7,233) 7,233	(100) 100	(161) 161	(1,022) 1,022	(3,578) 3,578	(408) 408	(1,159) 1,159	(2,781) 2,781	(813) 813	(5,963) 5,202
比率 (%)	(100) 100	(7) 6	(0) 0	(-) -	(0) 0	(7) 7	(27) 28	(0) 0	(1) 1	(4) 4	(13) 14	(2) 2	(4) 4	(10) 11	(3) 3	(22) 20

(参考資料：2010国勢調査)
参考資料：2015国勢調査

(H 26 年 12 月現在)

R 2 年 6 月現在 (第7表-2)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別経営体数 (経営体)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)				耕地の分散状況		専業別農家数(戸)			備考
		経営 耕地 なし	0.3 ha 未 満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ha 以上	計	田	畑	計	合計	1戸当 団地数	団地当 面積 (ha)	専業	兼業		
																				第1種	第2種	
恵那市	(4,099) 3,618	(22) 18	(8) 3	(859) 715	(1,122) 869	(278) 206	(62) 59	(37) 32	(16) 16	(14) 18	(10) 12	(2,428) 1,948	(0.73) 0.72	(0.20) 0.20	(0.93) 0.92	(0.93) 0.92			(403) 378	(70) 99	(1,907) 1,420	自給含めず
計	(4,099) 3,618	(22) 18	(8) 3	(859) 715	(1,122) 869	(278) 206	(62) 59	(37) 32	(16) 16	(14) 18	(10) 12	(2,428) 1,948	(0.73) 0.72	(0.20) 0.20	(0.93) 0.92	(0.93) 0.92			(403) 378	(70) 99	(1,907) 1,420	
比率 (%)	(100) 100	(1) 1	(1) 0	(31) 35	(47) 45	(12) 11	(3) 3	(2) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(100) 100	(78) 78	(22) 22	(100) 100	(100) 100			(10) 10	(2) 3	88 87	

(H 26 年 12 月現在)

R 2 年 6 月現在 (第7表-3)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	田植機		トラクター		コンバイン				乳用牛		役肉牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
恵那市	(1,611) 1,185	(1,578) 1,146	(2,070) 1,626	(1,972) 1,522	(1,110) 838	(1,077) 796			(1,001) 873	(16) 10	(488) x	(29) 22	(25,519) 23,937	(5) 5	(969) 1,030	(11) 9	
計	(1,611) 1,185	(1,578) 1,146	(2,070) 1,626	(1,972) 1,522	(1,110) 838	(1,077) 796			(1,001) 873	(16) 10	(488) x	(29) 22	(25,519) 23,937	(5) 5	(969) 1,030	(11) 9	
100戸当数量 (台・頭)	(102) 103	(105) 107	(103) 105	(103) 105	(6,256) 8,730	(1,683) x	(510,380) 478,740	(8,809) 11,444									
利用戸数の割合 (%)	(38) 32	(48) 42	(26) 22	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0										

(参考資料：第60次 東海農林水産統計年報)

参考資料：2015農林業センサス

4. 主要作物作付状況

(H 26 年 12 月現在)
R 2 年 6 月現在 (第7表-4)

市 町 村 名		恵那市								計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積 (ha)		(2,950) 3,340								(2,950) 3,340	(2,950) 3,340		
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面 積当 収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面 積当 収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面 積当 収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面 積当 収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面 積当 収量 (kg/10a)	(%)	
	田	水 稻	(1,400)	(526)							(1,400)	(526)	
1,290			509							1,290	509		
小 計		(1,400) 1,290								(1,400) 1,290			
畑	大 豆	(79)	(78)							(79)	(78)		
		45	57							45	57		
	夏秋トマト	(13)	(4,654)							(13)	(4,654)		
	13	4,131								13	4,131		
夏秋なす	(10)	(1,500)								(10)	(1,500)		
	9	1,389								9	1,389		
樹園地													
小 計		(102) 67								(102) 67			
そ の 他													
計		(1,502) 1,357								(1,502) 1,357			
市町村別延作付率 (%)													

作付面積は、市町村別の面積が掲載されているもののみ記載。
このため、作付率は算定しない。

(参考資料：第60次 東海農林水産統計年報)
参考資料：第66次 東海農林水産統計年報

(H 26 年 12 月現在)
R 2 年 6 月現在 (第 7 表-5)

5. 農業の動向

項目 区分	農 家		土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			その他	地域指定等	備 考
		B A (現在)		B A (現在)	作物名	B A (現在)	家畜名	B A (現在)	農機具名	B A (現在)							
変化の状況 C 年を 100 とする指数	総農家数	(95) 95	(90) 84	耕地	(97) 98	(95) 97	稲	(101) 95	(95) 89	乳牛	(38) 198	(75) 173	動力 田植機	(92) 81	(74) 60	農振計画 H17.7 特農 H5.9 山振 S44 過疎 H17 野菜(夏秋トマト) S41.8 野菜(夏秋なす) S48.3	
	専業 農家数	(113) 115	(130) 108	田	(98) 99	(97) 98	麦	(x) -	(x) -	肉牛	(85) 91	(77) x	乗用型 トラクター	(99) 89	(89) 70		
	第 1 種 兼業 農家数	(153) 50	(76) 70	畑	(92) 95	(88) 94	大豆	(116) 131	(151) 84	豚	(x) -	(x) -	コンバイ ン	(103) 75	(77) 57		
	A (H22) H27 B (H17)	第 2 種 兼業 農家数	(79) 91	(72) 68						採卵鶏	(38) 78	(30) 83					
	C (H22) (H12) H17	農業 従事者 数	(80) 91	(73) 33						ブロイ ラー	(x) x	(x) x					
変 化 の 理 由																	

第 6 節 地域環境の概況

太平洋気象の影響を受ける準内陸型の気候です。夏季の気温差が比較的大きく、冬季は寒さがやや厳しくて、降雪量は少ない。年間を通じて比較的安定した気候である。

海拔 179m から 1,709m で、市北部には笠置山、南東部には焼山をはじめとして標高 800m から 1,200m 前後の山々が連なり、市街地の北部を木曾の御岳を源とする木曾川が、また南部には長野・岐阜・愛知の 3 県を流れる矢作川があり、美しい山や川に囲まれている。

北部山地を水源とする河川は、木曾川及び阿木川に注がれ、木曾川水系となる。一方、西方山地よりの河川は、土岐川支流、一級河川小里川で庄内川水系となる。南部には長野・岐阜・愛知の 3 県を流れる矢作川があり、現在は河道整備が進んでいるが、水質浄化や生態系にやさしい配慮がなされている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区の一部ほ場は、排水不良により農地が湿潤状態となっており、排水処理のための維持管理作業に苦慮している。

よって、暗渠排水を整備し、排水処理に関する維持管理の低減を図り、農産物の生産性の向上、農業経営の安定を目指す。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	暗渠排水														合計
	水田	普通畑	牧草地	果樹園			小計	水田	普通畑	牧草地	果樹園			小計	
土地利用区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			(ha)	(ha)
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			(ha)	(ha)
暗渠排水	(4.9) 4.3						(4.9) 4.3								(4.9) 4.3
計	(4.9) 4.3						(4.9) 4.3								(4.9) 4.3

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

暗渠排水を整備することにより、排水処理に関する維持管理の低減を図り、農産物の生産性の向上、農業経営の安定を目指す。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	桑園	その他樹園地		小計	山林	原野	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
暗渠排水	現況	(4.9) 4.3							(4.9) 4.3				(4.9) 4.3	
	計画	(4.9) 4.3							(4.9) 4.3				(4.9) 4.3	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	(4.9) 4.3							(4.9) 4.3				(4.9) 4.3	
	計画	(4.9) 4.3							(4.9) 4.3				(4.9) 4.3	

5. 労働改善計画 該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 地目	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				

注) 「作物名」欄は「4. 生産計画」に準ずる。(△は減を示す。)

6. 級地別土地利用区分 該当なし

(第9表-5)

土地利用区分		区分	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					備考
		級地名	一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田												
	輪換耕地												
	畑												
	(普通畑)												
	(牧草畑)												
	樹園地												
	(果樹園)												
	(桑園)												
その他													
計													

7. 土地配分計画 該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)							備考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草地	樹園地			

第3節 用水計画

1. 計画基準年 該当なし

2. 計画かんがい方式

かんがい期間(水田) 該当なし

(第10表)

栽培方式	区分	代 掻		用 水 補 給		備 考
	期間	自 ~ 至	日 数	自 ~ 至	日 数	
特 早 期		~ 月	日	~ 月	日	
早 期		月 日 ~ 月 日	日	月 日 ~ 月 日	日	
普 通 期		月 日 ~ 月 日	日	月 日 ~ 月 日	日	

3. 計画用水系統 該当なし

(2) 用水対策

(ア) 井堰及び自然取入口 該当なし

(第10表-3)

取水施設名	項目 河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事業名			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)		
					計				

注) 1. 「取水施設名」欄は井堰、自然取入の分類。備考欄はその型式。
2. 「取水量の平均」欄は普通期の平均。「渇水量」欄は計画基準年。

(イ) 貯水池 該当なし

(第10表-4)

取水池名	流域面積		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)	事業名							
					計					

注) 「利用貯水量」欄はかんがい期間内の貯水池通過水量に有効貯水量を加算したもの。

(ウ) 揚水機

該当なし

(第10表-5)

名称	項目 水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業名			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
				計							

注) 「所要水量の平均」欄は代掻期以外の平均所要水量で、2.4時間に換算したもの。

(2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
計											

(3) 排水路

該当なし

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計							
計											

(4) その他

該当なし

6. たん水検討

該当なし

索道		該当なし			(第12表-2)
路線名	項目	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図 該当なし …………… 注) 既設道路との接続関係、計画路線名、幅員の区分。

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画 該当なし

(第13表-1)

地目名	項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

注) 1. 「地目」欄は「事業別面積」(第8表)の地目に区分。「主要作物」欄は普通畑を牧草畑、そさい畑に区分。樹園地は樹種名。

2. 「耕地の形態」欄は畑、樹園地についてのみ「改良山成畑」、「山成畑」等の別。

2. 土壌改良 該当なし

(第13表-2)

区分	項目	面積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y ₁)	リン酸 吸収係数 (mg/100g)	ha 当 所 要 量			備 考
				H ₂ O	KCL			石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地 点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)	備 考

3. 貯水池 該当なし

(第14表-2)

貯水池名	流域面積		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量			計画調整 流量 (m ³ /s)	可能調整 流量 (m ³ /s)	備 考
	直接 (km ²)	間 接 (hr)		有 効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	他 目的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討
- (1) 河川改修計画との関係
該 当 な し
 - (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
該 当 な し
 - (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討
該 当 な し
5. 管理計画
- (1) 管理機構
該 当 な し
 - (2) ダム管理操作上の各種基準
該 当 な し
 - (3) 洪水調節要領
該 当 な し

第8節 干拓計画 該 当 な し

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 該当なし

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

(2) 表土扱い 該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

(第16表-3)

区分	面積 (ha)			事業名	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備考
	暗渠排水		計							
野志地区	(1.8) 1.8		(1.8) 1.8	多々良統					自然排水	
杉平地区	(0.6) 0.6		(0.6) 0.6	諸橋統					自然排水	
落倉地区	(0.7) 0.7		(0.7) 0.7	喜多久統					自然排水	
高波地区	(0.3) 0.3		(0.3) 0.3	国領統					自然排水	
大栗南地区	(0.6) -		(0.6) -	芝井統					自然排水	
松本地区	(0.3) 0.2		(0.3) 0.2	千年統					自然排水	
松林地区	(0.6) 0.7		(0.6) 0.7	安来統					自然排水	
計	(4.9) 4.3		(4.9) 4.3							

3. 客土 該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区) 名	減水深 (mm/day)		作土の厚さ (cm)		10a当 客土量 (m ³)	土壌の性質		備考
	事業名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
			計									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(第16表-5-1)

施設名	項目 最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工 該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 浸食(崩壊)防止工 該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
	計				

注) 「施設名」欄は主要な施設の名称、「位置」欄は水路名。

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画
 - (1) 計画基準雨量 該当なし
 - (2) 計画洪水量 該当なし
2. 堤体補強計画 該当なし
3. 取水施設改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 頭首工 該当なし

(第17表-1)

名称	型式	堤高 (m)	位置			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
			堤長 (m)						
			固定部	可動部	計				

- 注) 1. 「堤高」欄は堤体底面から堤頂までの高さ、下段 () は堤頂標高。
 2. 「取水位」欄は取水水門直上水位、「取水量」欄は期間最大値。
 3. 「付帯施設」欄は土砂吐、取水水門(取水門のみの場合の「堤長」欄は「構造」。)

2. 貯水池 該当なし

(第17表-2)

名称	流域面積 (ha)		位置	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千/m ³)	基盤地盤地質	貯水量 (千/m ³)	
	型式	直接						間接	総貯水量
堤体									
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)

3. 揚水機 該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (HP)	台数 (台)	

2. 排水機 該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (HP)	台数 (台)	

注) 「排水量」・「揚程」欄は計画値、「排水機の型式」欄は軸流、渦巻等の種別、「原動機の型式」欄は電動機、内燃機関の別。

3. 排水路 該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物 (箇所)	備考
	事業名				総延長	開水路	その他				
			計								
計											

注) 1. 「排水量」欄は計画排水量、「構造」欄はブロック・コンクリート柵渠・コンクリートU・V字溝・土水路の分類。
2. 基幹用水路の他、区画整理の小排水路も含む。

4. その他 該当なし

(2) 道路主要構造物 該当なし

(第19表-2)

路線名	項目	名称	規模	構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

注) 主要構造物は道路の一部で道路としての機能を持つトンネル、橋等。(橋はスパン5m以上)

2. 索道 該当なし

(第19表-3)

名称	項目	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
					型 式	動 力 (HP)	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根 該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹 種	樹 径 (cm)	ha当本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2) 除礫 該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開墾作業 該当なし

(第20表-3)

区分		面積 (ha)	工 法	備 考
項目	造成工法			

2. 土壌改良 該当なし

(第20表-4)

区分	面積 (ha)	石灰量 (t)	リン酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考

第5節 洪水調節機能

1. 貯水池

(1) 頭首工 該当なし

(第21表-1)

名称	位置		長			計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	(m)					
			固定部	可動部	計			

(2) 導水路 該当なし

(第21表-2)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防 該当なし

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装 (m)	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め 該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設 該当なし

4. 埋立 該当なし

(第22表-3)

区分	項目 面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地施設整備

1. 区画整理 該当なし

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工事		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m ³)	面積 (ha)	土量 (m ³)	
計						

2. 暗渠排水

(第23表-2)

項目 区分	受益面積 (ha)			集水渠				排水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名	暗渠排水	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量
野志地区		(1.8) 1.8	(1.8) 1.8		U字溝	300	80		VU	50	0.6		868				
杉平地区		(0.6) 0.6	(0.6) 0.6						VU	50	0.6		471				
落倉地区		(0.7) 0.7	(0.7) 0.7						VU	50	0.6		360				
高波地区		(0.3) 0.3	(0.3) 0.3						VU	50	0.6		206				
大栗南地区		(0.6) -	(0.6) -						VU	50	0.6		401				
松本地区		(0.3) 0.2	(0.3) 0.2						VU	50	0.6		300				
松林地区		(0.6) 0.7	(0.6) 0.7		集水渠 U字溝	600×200 300	40 182		VU	50	0.6		166				

3. 客土 該当なし (第23表-3)

区分	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
			計					

4. 農地保全 (1) 防災林 該当なし (第23表-4)

区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路 該当なし (第23表-5)

区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考

(3) 浸食防止施設

該当なし

(第23表-6)

項目 名称	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

該当なし

(第24表)

名称				位置				
	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
堤体								
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

該当なし

(2) 漏水防止工

該当なし

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期 (平成 31 年度)
 着工予定 平成 27 年度 完了予定 令和 3 年度

2. 工事の年度割予定

単位：千円 G61

年 度	全 体	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
暗渠排水	(21100) 35,557	(4,220) 420	(4,220) 1,267	(4,220) 646	(4,220) -	(4,220) 11,074	(-) 10,852	(-) 11,298		
割合 (%)	(100) 100	(20) 1	(20) 4	(20) 2	(20) -	(20) 31	(-) 31	(-) 31		

第8章 環境との調和への配慮

- ・土工実施に伴う下流水域への土砂流出を抑制するため、必要に応じ沈砂池等を設ける。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画の基本的事項 該 当 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積 該 当 な し

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)

注) 「換地区の所在」欄は当該換地区の市町村、大字(字、町)。「面積」欄は小数点以下2位を四捨五入。

2. 換地区を設定する理由 該 当 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準 該 当 な し

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準

注) 「地積の基準」欄は、「事業主体、市町村等が行う実測による地積」「土地改良事業に係る計画概要の公告の日の登記簿地積」、「土地改良事業計画決定(認可)の日の登記簿地積」、「国土調査法による地積調査に基づく登記が完了している土地にあっては土地改良事業計画の認可の日の登記簿地積」の別。

3. 農用地集団化の方針 該当なし

(第25表-4)

項目 換地地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地換地の方法 該当なし

(第25表-5)

項目 換地	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 該当なし
2. 清算の方法 該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画 該当なし

(第25表-6)

項目 換地	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

事業費の総額 (22,600) 千円
37,914

工事費 (21,100) 千円
35,557

工雑及び
地方事務費 (1,500) 千円
2,357

工 種	事業量	事業費 (千円)		備考
暗渠排水	(4.9) 4.3 ha			
工事費		(16,200) 32,200		
測量試験費		(4,900) 3,357		
用地補償費		-		
小計		(21,100) 35,557		
工事雑費		(500) 882		
地方事務費		(1,000) 1,475		
合計		(22,600) 37,914		

第11章 効 用

(第27表)

区分 効果項目	暗渠排水					
	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)
食料の安定供給の確保に関する効果	(2,290) 2,792	(2,291) 2,800				
農業の持続的発展に関する効果	(-) -	(-) -				
農業の振興に関する効果	(-) -	(-) -				
多面的機能の発揮に関する効果	(-) -	(-) -				
その他の効果	(-) 10	(-) -				
計	(2,290) 2,802	(2,291) 2,800				
総便益額	(39,498) 56,076					
総費用総便益	(1.56) 1.25					
総所得償還率	(10.4) 19.2					
増加所得償還率	(4.9) 6.8					

第12章 関連する事業

該当なし

事業名	計画概要	受益面積 (ha)	総事業費 (千円)	工期	前年度進捗率 (%)	本事業との関連性

第13章 現況・計画図面

別紙による